

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		NICO.Preschool		公表日		年 月 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	必要に		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	86%	14%		バリアフリーではないが、車いす等の児童がない。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	日々の業務内やカンファレンス等でできている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	71%	29%	外部からの意見を参考に改善に努めている。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	研修等があれば積極的に参加している。地域開催の研修会などの共有、参加の促し。		
適切な支援の提...	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	支援経過等のひな台を元に作成できている。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	ひとりひとりしっかり様子を観察し、個別課題を作成できている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	事業所の代表という意識を持ち対応している。定期的なカンファレンスでの擦り合わせの機会がある。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	職員全員が把握できるように常に確認できるようになっている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	常に確認するように心がけている。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	利用者それぞれ詳しく個別課題として話し合いが行われ、それに向けてどういった支援ができるか考えられている。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	予定決め等職員全体で実施できている。役割分担、案の提示。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	発展、応用もきちんと考えられている。昨年度の活動との照らし合わせ。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	同じ活動で個々に合った難易度で実行できている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	14%	打ち合わせがしっかりできている。	時間の関係で日によってできない日がある。時間の確保が必要である。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	86%	14%	業務の中でしっかりできている。	時間の関係で日によってできない日がある。時間の確保が必要である。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	日々の記録を欠かさず行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	定期的に必ず行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	100%	0%	しっかり意味の持った活動ができている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	場合に応じて選択肢を設け、自己決定できるようにしている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	実施できている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	学校等との連携はできている。関係機関とは密に行っている。	医療との連携はまだできておらず不十分。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	送迎等で確認したり、電話等で連絡をとることもある。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%	0%	以前の様子を知りたい時に連絡をとっている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	71%	29%	情報を提供できるようにまとめている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	71%	29%	積極的に行うようになっている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	86%	14%	そのような機会があれば参加するようにしている。イベント参加を活動に多く取り入れている。	機会はある（他事業所からのお誘い）がこちらからの機会の提供は難しい。曜日、人数等の関係により。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	71%	29%	案内等のお知らせもあり参加するようにしている。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎等で情報交換ができている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	57%	43%		家族等が参加できる研修などは少ないように感じる。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	利用時や見学等でしっかり説明できている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	モニタリング等でしっかり話し合い、擦り合わせができている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	しっかり説明をした上で理解をいただいている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	見学の受け入れ、面談日の設定等、柔軟に取り入れている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	14%	86%		2月に開催予定である。設ける予定。今後そのような機会を開催する予定である。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	しっかり実施できている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	インスタグラムの活用、毎月の通信の発行を行っている。 普段の活動の様子、来月の予定を記載したニコブリ通信の作成（月1回）	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	保管場所をきちんと決め、取り扱いにも気を付けている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	しっかり実施できている。 子どもに対しては対応や声掛け等のやり方を共有。 保護者に対しては申し送りの仕方の注意、保護者の状況を把握する。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	29%	71%		そのような機会があればぜひ企画したいと考えている。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	86%	14%	どの項目もマニュアル化され、常に確認できるようになっている。	なかなか時間の確保ができていない。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	86%	14%	避難訓練を定期的に行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	情報共有ができている。 アレルギー表、てんかん児の名前等を記載し、見える所に貼っておく。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	おやつ提供時に気を付けている。 アレルギーの一覧があり、常に確認できるようになっている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	86%	14%	小さい危険にも目をやり、安全に支援ができるように対策ができている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	モニタリング等で確認できている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	職員同士で情報共有ができる。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	定期的にアンケート等を実施している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	しっかり保護者様に了解を得てから実施している。		